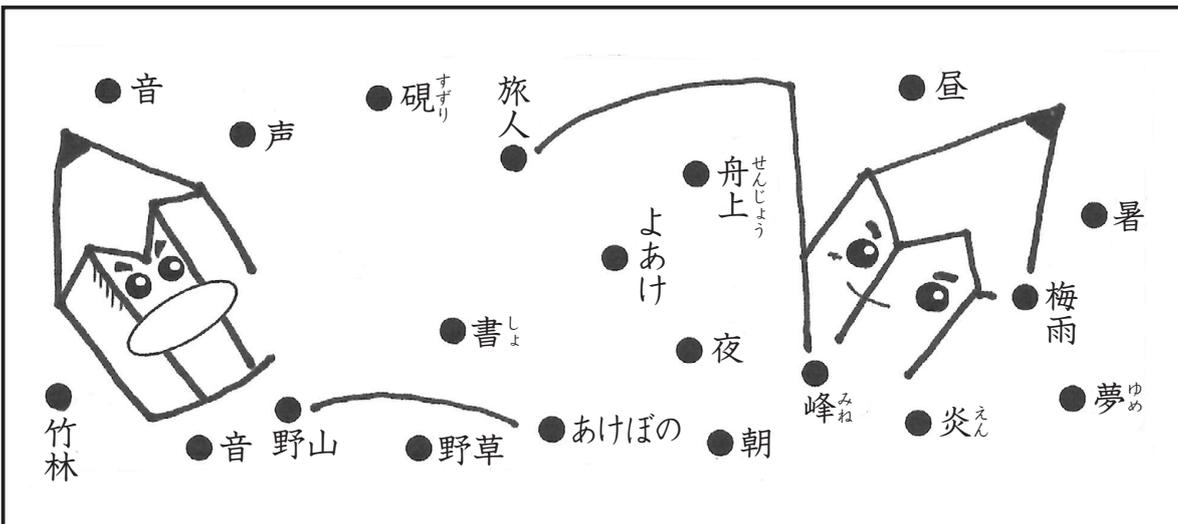


古典と言葉で点つなぎ

年
組

◆問題を解いて、上の絵の中から「答え」を見つけよう。答えをつないでいくと、「絵」が完成するよ。



1
今は昔、竹取の翁といふものありけり。()にまじりて竹を取りつつ、
(竹取物語より)

2
祇園精舎の鐘の()、
諸行無常の響きあり。
(平家物語より)

3
つれづれなるままに、
日暮らし、()に向かひて、
心にうつりゆく
(徒然草より)

4
月日は百代の過客にして、
行きかふ年もまた
()なり。
(奥の細道より)

5
春は()。
やうやう白くなりゆく、
山ぎはすこし、あかりて
(枕草子より)

6
夏は()。
月のころはさらなり、闇もなほ、
螢の多く
(枕草子より)

7
雲の()
夏の雲が、高くそびえ立つ様子

8
()天
ぎらぎらと焼けつく真夏の空のこと。

9
()
六月ごろ降り続く長雨や、
その時期のこと。